

TNP 通信

新企画「MINERVA 日本新生リレーカンファレンス 2012」開催！

～グリーンイノベーション、ライフイノベーションで日本復興を支援～

【平成 24 年 6 月 21 日(木) 開催 会場：岩崎学園(新横浜1号館 8F)】

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA (旧 TSUNAMI) は、2000 年 12 月から先月 5 月まで、約 12 年の間に 146 回のビジネスプラン発表会を開催して参りました。多くの皆様方に出会いとビジネスのきっかけ、新しい販路の開拓へ資することができたと自負しております。ご存知のように、日本には世界をリードする数多くの環境関連技術があります。世界が新たな発展と環境エネルギー問題の解決に取り組む中で、日本の高度なものづくり産業基盤と技術力は大きな付加価値を生み出す源泉となります。また、今春には、神奈川県、横浜市、川崎市がライフサイエンスの国際戦略総合特区にも指定され、数多くのライフサイエンスに関わる技術と接点を持って参りました。昨年の震災を経て、MINERVA がその総力を結集して日本の技術力によって、東北のみならず日本の復興支援のプロジェクトに資する時がいよいよ来たと考えました。

そこで、**本年 6 月よりビジネスプラン発表会を刷新し、新企画「MINERVA 日本新生リレーカンファレンス 2012」を開催**することと致します。こちらは単発的なセミナーではなく、今後長いスパンで定期的に企画して参ります。去る 6 月 21 日には記念すべき第一回目となる「日本新生リレーカンファレンス」が行われました。カンファレンスにご発表頂く発表企業は、日本復興に貢献できるグリーンイノベーション、ライフイノベーションおよび関連分野におけるベンチャー企業（およびプロジェクト）です。今回は、下記 2 つのプロジェクトの発表が行われました。今回より資料代等を含めた有料イベントとなりますが、開催ご案内当時より期待に満ちた声が届けられ、おかげ様で当日は約 80 名の参加者の方々にお集まり頂き、会場は大変活況を呈していました。ありがとうございました。この号では簡単ではございますが、カンファレンスの模様をご紹介します。



(株) TNP パートナース新堀副社長より開会の挨拶

1. 「太陽光発電プロジェクト・高効率発電パネル開発」

東北大学未来科学技術共同研究センター教授 大見 忠弘氏

【大見教授略歴】 80 年代に半導体製造工程のクリーン化に取組み、数々の新技術を提唱してきた。なかでも、インテルが 87 年の新工場建設で大見仕様を全面採用し、通常の新ロットの歩留まり 30%以下をいきなり 80%を達成し脚光を浴びた。以来、国内外問わず半導体デバイスメーカー数十社の指導に当たってきた。日本が誇る世界の第一人者である。



「再生可能エネルギー」のなかで、一番身近なものが「太陽光発電」です。しかしフィードインタリフ（補助金）なしには経済的に成り立ちませんでした。原因は、変換効率が低く、価格が高いことに尽きると言えます。今回、アモルファス Si と微結晶 Si 薄膜のタンデム構造で変換効率 30%、製造コスト従来製品の半分以下の太陽光発電パネルの開発に成功しました。大見教授は、数々の半導体製造技術を応用し、サイエンスに基づいた製品構造と製造装置を作り上げました。日本でしかできない技術であります。その技術を基に太陽光発電パネル製造ラインと太陽光発電パネル製造の事業化に踏み出し、世界に日本ありと言わしめる機会にしたいとのことでした。

太陽光発電パネル構造、製造工程、製造装置について詳しく説明して頂きました。また、事業計画は TNP オンザロードの川瀬取締役により説明されました。

2. 海洋温度差発電&森林保全間伐材有効利用の複合型再生エネルギープロジェクト

株式会社 GEC 代表取締役社長 上原 春男氏

【上原氏略歴】 山口大学文理学部卒、九州大学生産化学研究所助手、佐賀大学理工学部教授、同大学学長ののち、当社設立。大学時代から海洋温度差発電の研究開発を始め、30 年。2005 年 NPO 法人海洋温度差発電推進機構理事長就任、2006 年 GEC 設立、現在に至る。



「海洋国家日本」が今後のエネルギー戦略に於いて様々な海洋資源をエネルギーに換える技術を有しています。その中で、海流の中で深層と表層の温度差を利用する発電方式において、この技術はウエハラサイクルと呼ばれて、効率が高く、世界最先端であると言われていています。既に 10 以上の実証試験にも関わり、佐賀大学には実験プラントが稼働中である中、今後日本を含む海洋国で始められる海洋温度差発電の事業化する為のビジネスプランを発表して頂きました。長年の再生エネルギー研究の成果として、複合利用についての重要性を提言しており、海洋温度差発電においても、Li 産生や深層水の二次利用などを提案しており、複数の国で事業化の FS 段階に入っています。同様に、森林資源豊富な日本において、森林間伐材を原料にバイオマス発電のみならず、上原先生の独自の設計思想によるバイオマスプラントにより、活性炭や木酢液、水素など発生するさまざまな副産物をいかに有効活用し、次世代のエネルギー戦略に有効活用するかを提案しており、国内の複数個所で国の補助を受けつつ、事業化が進んでいます。



カンファレンスは、従来のビジネスプラン発表会のように毎月決まった曜日に開催するイベントではありませんが、引き続き同様のプロジェクト、ベンチャー企業をご紹介して参りますので、今後も皆様のご参加をお待ちしております。なお、次回のカンファレンスは日程が決まり次第、ご案内致します。

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA

(TEL) 045-470-8668 (FAX) 045-470-8818

奈尾

(株)TNP パートナース、(株)TNP オンザロード

(TEL) 045-470-8088 (FAX) 045-470-8090

井汲/吉岡